

患者さまへ

破傷風トキソイド供給停止に伴う当院の対応について

破傷風とは、破傷風菌に感染することで、口が開けにくくなったり、飲み込みにくくなったりするなど神経の働きが悪くなる病気です。

原因となる破傷風菌は、土がある環境や動物の体の中や糞等にいる菌で、主に傷口から人の体の中に入り込みます。

欧米の報告では、受傷から 6 時間以上経過した傷、剥離や創面が不整で複雑な傷、傷の深さが 1 cm 以上の傷、事故等による挫創、刺創、熱傷、銃創、重症凍傷などの傷、発赤や腫脹、疼痛などの感染兆候を認める傷、壊死組織を伴う傷、土壌や糞便、唾液などの異物の付着のある傷、壊死組織を伴う傷、土壌や糞便、唾液などの異物の付着のある傷、虚血や神経障害を認める傷が、(ワクチン) 破傷風トキソイドの適応とされています。

現在、その破傷風トキソイドが全国的に供給停止となっており、当院でも例外ではありません。

当院では、いつも以上に傷をしっかりと洗うことを心掛けて感染対策にできる限り努めますが、破傷風トキソイドが使えないことで、破傷風の感染予防が十分ではないことをご理解願います。

なお、重症例につきましては、血液製剤である抗破傷風免疫グロブリンで代用します。

皆様には、ご不便・ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどお願いいたします。

滝宮総合病院 病院長